

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 新規開業・新事業創出の促進
-----	-----------------

施策主管課	産業政策課	総合計画記載頁	115ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	17 地域産業の創造性・発展性を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の農業、商業、工業において、相互に新たな関係や連携が生み出され、地域資源の有効活用や人材の交流が活発化して、地域産業の創造性・発展性が高まっています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	市民や企業の時代のニーズを捉えた積極的な取組により、新規開業や新事業が創出されています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H24.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	起業家セミナー参加者数(人)	単年度目標値	75	80	85	90	95			100	C	指標3	中核市平均	45.0					
	現状値	72人	実績値	48					実績値	45.7										
	目標値(H29)	100人	単年度の達成度	64.0%					中核市での本市の順位	22位/41市中										
指標2	市内事業所数(製造業)(社)	単年度目標値	590	600	610	620	630	640	A	③ 市民意識調査結果	中核市平均									
	現状値	582社	実績値	638							実績値									
	目標値(H29)	640社	単年度の達成度	108.1%							中核市での本市の順位									
		単年度目標値									H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価			
	現状値		実績値								施策の満足度(%)	調査結果	13.3%						-	
	目標値(H29)		単年度の達成度								目標値(H29)	19.7%	前年度からの増減							

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

※ 評価の考え方

施策指標  
A: 達成度90%以上 B: 達成度70%~90%未満 C: 達成度70%未満

中核市等との水準比較  
(中核市での本市の順位)  
A: 上位1/3(1~14位) B: 中位(15~28位) C: 下位1/3(29位以下)

市民意識調査結果  
(満足度)  
A: 前年度より向上(2%超) B: 前年度同水準(±2%以内) C: 前年度より低下(−2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<p>・起業家セミナーについては、本市と産業振興センターと商工会議所で実施しているが、景気低迷による先行きの不透明感から起業意欲が抑えられる等、景気の影響を受ける傾向にあることや、それぞれが実施するセミナーが類似の講義内容であること、民間による類似のセミナー開催などの理由から参加者は減少している。</p> <p>・成果が見られる点については、ビジネスプランコンテストに向けたビジネスプランのブラッシュアップのために、起業創業相談窓口の活用を促したことにより、延べ利用件数(97件)が前年度比1.76倍の成果が得られた。</p>	市民満足度		進捗の状況	概ね順調
------	--	-------	--	-------	------

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	起業家養成事業		起業家精神の育成	大学生、専門学校生、一般社会人	アントレプレナーシップ（起業家精神）を養成する講座を実施	H25	大学と連携し、より多くの大学生に参加を呼びかけ、受講生の確保を図るとともに、起業家教育のノウハウを有する民間事業者に業務委託することで、より魅力的で効果の高い講座の実施を目指す。
2	チャレンジャーのまち・うつのみや推進事業	○	起業家の集積・成長支援	Uターン、Jターン、Iターンにより市内に移住し、新たに起業した（しようとする）者	法人設立費用、事業拠点費用、生活拠点費用の一部を補助	H20	ベンチャー企業の誘致・集積を目的とした事業であるが、申請者の業種が飲食店に偏りが見られることから、今後は、より他業種のベンチャー企業が活用できるよう取り組む。
3	ビジネスプランコンテスト事業		起業家の集積・成長支援	新規性のあるビジネスプランを有する起業予定者、起業後3年以内の方、既存事業とは別に新事業を検討している者	コンテスト実施、セミナーの開催等	H23	コンテスト終了後のフォローアップの充実を図るため、今後は、出口支援の充実を図るべく、協賛企業の募集や投資家・融資担当関係者への積極的な広告宣伝を展開し、コンテスト参加者の事業化を支援する。
4	宇都宮ベンチャーズ事業補助金		インキュベーション機能の充実	宇都宮ベンチャーズ（運営委員、入居企業、ベンチャーClub会員）	インキュベーション施設の運営（経営診断、入居企業間の交流促進、起業家の発掘等）	H15	支援組織の活性化を図るため運営委員の増員を図るなど、支援体制の拡充を検討する。また、施設の老朽化に対応する必要があることから、サービス機能や運営のあり方も含めて見直しを図る。
5	起業・創業相談窓口		新事業創出の支援	起業予定者及び起業後間もない者	各種相談に対するアドバイスや専門機関・支援事業等の紹介等	H23	企画から事業化までの様々なレベル・分野に応じた相談窓口を設けているが、今後は、ビジネスプランコンテストのほか、UJIターン起業促進補助金等各種支援事業と連携を密に図り、利用者のさらなる拡大を図る。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆新規開業への支援事業について、本市では、起業の段階に応じて創業準備期から創業期、成長期までの支援を実施してきたが、今後は、入口から出口まで一貫した支援策の連携を高めるとともに、成長期においては、円滑な資金調達を図るための民間企業の活用等が必要である。</p> <p>◆宇都宮ベンチャーズのインキュベーション施設の建物は、建設から約40年が経過しており老朽化が進んでいる。また、起業や新規事業創出に至るスピード化、女性や退職者が起業するなど起業家の多様化等、宇都宮ベンチャーズを取り巻く環境は、10年前の開業から大きく変化している。これらの状況に対応するため、施設の更新や運営方法など、ハード・ソフト両面からのあり方を検討する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆起業環境の変化に対応するため、起業家や経営者のニーズを把握し、各種事業に反映させながら、事業の連動性を高めた、起業家精神養成期から成長期までの一貫した支援体制を確立する。</li> <li>◆市内の他の支援組織や民間企業（金融機関含む。）との連携・協力を図り、地域一体となった支援を目指す。</li> <li>◆宇都宮ベンチャーズのインキュベーション施設は、「施設機能の見直し」及び「施設の移転」も検討したうえで、施設更新に向けた事業展開に取り組むとともに、運営体制やソフト事業の内容も見直した上で、より効果的な支援事業を実施していく。</li> </ul> <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆チャレンジャーのまち・うつのみや推進事業については、優れたビジネスモデルを有するベンチャー企業の誘致・集積を目的として事業を立ち上げたが、新規の利用が少ないことなどから、ベンチャー企業がより利用しやすい制度となるよう、創業準備期の「起業・創業相談窓口」や「ビジネスプランコンテスト事業」と効果的に連携し、利用促進を図る。</li> </ul>